

地域の特徴

▶ 自然豊かな但馬

但馬地域は、兵庫県の北部に位置し、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町の3市2町からなり、その面積は県下の約25%（約21万ha）を占めています。但馬地域の約83%は、森林で氷ノ山、扇ノ山、鉢伏山など兵庫県の屋根を形成する1,000m級の山々が集中し、山頂付近にはこの地域の自然を特徴付けるブナ林も見られます。また、一級河川円山川をはじめ、竹野川、矢田川、岸田川等が日本海へ注いでおり、日本海に面する海岸部は山陰海岸国立公園に指定され、四季の変化に富んだ美しい景観、豊かな自然環境を形成しています。この山陰海岸国立公園を中心とした多様な地質や地形が、山陰海岸ジオパークに認定（H22.10）された他、円山川下流域・周辺水田においても県下で初めてラムサール条約に登録（H24.7）されるなど世界に誇れる景観となっています。

気候は、日本海型気候で冬の降水量が多く、新緑、紅葉や雪等四季がはっきりした季節感豊かなところです。このため、「弁当忘れても傘忘れるな。」と言われたり、「雪の但馬へよう来んさった。」と歌われるなど、夏は暑く、冬は寒さが厳しい地域です。



神鍋高原スキー場（豊岡市）

▶ 但馬の食

緑濃い山々と、日本海に挟まれ自然の恩恵を多く受ける但馬地域は、さながら美味王国とも呼べるほど食文化の魅力にあふれています。

その代表格は、なんといっても但馬牛です。神戸ビーフの素材として、全国はおろか世界のグルメたちの舌を魅了してやみません。また、冬の但馬海岸で水揚げされる松葉がには、冬の味覚の王者です。他にも、信州そばの流れをくむ出石そばや岩津ねぎなど、いずれも自然を活かした美味王国の趣が多くあります。



但馬牛



松葉ガニ



出石そば



但馬牧場公園（新温泉町）